

1. 件名：日本原子力研究開発機構新型転換炉原型炉ふげんの事業者防災訓練報告について

2. 日時：令和3年12月23日 15:00～17:05

3. 場所：原子力規制庁3階 室内会議卓

4. 出席者

原子力規制庁 緊急事案対策室

宮地防災専門官

(以下、テレビ会議システムによる出席)

蔦澤専門職

日本原子力研究開発機構

安全・核セキュリティ統括部危機管理課長 他5名

5. 要旨

日本原子力研究開発機構から、令和3年10月15日に実施した新型転換炉原型炉ふげんの原子力事業者防災訓練について、配布資料に基づき、防災訓練実施結果報告の概要等の説明があった。

原子力規制庁から、主に以下を伝えた。

- ・今後の改善点については、訓練における指摘事項に限らず、今後の能力向上に向けて取り組むべき課題を自ら抽出して訓練報告書に記載すること。
- ・訓練結果については、解釈が曖昧にならないようできるだけ明確な記載とすること。

日本原子力研究開発機構から、本日の面談を踏まえて防災訓練実施結果報告書を精査し、取りまとめた後に提出するとの説明があった。

6. その他

配布資料：

資料1「防災訓練の結果の概要（総合防災訓練）」

(新型転換炉原型炉ふげん)